



【自由通路内部イメージ図】

桂川駅の自由通路について

新しく設置する桂川駅の自由通路は、今まで踏切を介して往來していた駅の南北を繋ぎ、人の往來が容易になります。

南北両側にエレベーターが設置される自由通路は歩行者のみ通行可能です。長さは約80m、自由通路及び直結する駅舎は、お子様やお年寄り、荷物の多い旅行者にも優しいバリアフリー対応となります。また、自由通路内壁面に透明ガラスを採用することにより開放的で明るい雰囲気になる予定です。

桂川駅の自由通路は、駅利用者の利便性向上のみならず、新たな人の流れや駅周辺のにぎわい作りにつながる架け橋となることが期待されます。



【JR桂川駅 南側からのイメージ図】

これが南側から見た自由通路のイメージだよ。



エレベーターの部分に王塚古墳の装飾壁画の文様があしらわれてるね。



そうなの。やっぱり桂川町のシンボル「王塚古墳」は必要だよ。



これなら町外から来た人にもインパクトがあるし、王塚古墳のアピールに繋がるね。自由通路完成が本当に楽しみだね。



暮らしやすい「まち」桂川へ向けて、町づくり事業が進展していくのが楽しみだね。



笑顔あふれる住みよい

「まち」づくりに向けて

筑豊の玄関口となるべく、平成21年に検討が始まり約7年の年月を経てようやく完成予想図を発表できるまでに至った桂川駅周辺整備計画。

福岡都市圏への通勤圏である桂川町の魅力を高めるため、駅南側広場の整備や、駅の南北をつなぐ自由通路の整備が、本格的に動きだそうとしています。

今回の駅周辺整備事業では、自由通路設置に伴い、駅北側に集中する交通量や人の流れを分散させるなどの課題が解消されることが期待されています。また、バリアフリーにも対応し、新たに設置される駅舎及びエレベーターにより、自由通路から直結して改札口を通ることもできます。

桂川町のシンボルである「王塚古墳」の要素も取り入れ、町外の方には魅力的で、町民の皆さまには親しみのもてる「JR桂川駅」が実現しようとしています。

桂川駅周辺整備により、住む人の笑顔があふれ、にぎわいのある住みよい「まち」づくりとなるよう事業を進めていきます。

ご意見、お気づきの点などありましたらお問合せください。

問合せ先／桂川町役場 建設事業課 事業係

☎ 65・3330